

## 「第 53 回雲南懇話会」開催のご案内

— Yunnan Forum in Kyoto, May 2021 / 夢・好奇心・探求心 —

「第 53 回雲南懇話会」（「京都フォーラム」と言います。）について、下記のとおりご案内申し上げます。  
「雲南懇話会」は、中国雲南省の最高峰・梅里雪山（6,740m）を中心とする「雲南・チベット地域」及び  
周辺地域の総合的な研究を進める事を目的に、2004 年 12 月に発足。2020 年 12 月で満 16 年となりました。  
この度、16 周年を記念して京都フォーラムを京都大学時計台記念館で開催することと致しました。  
今回は、事前の参加申込みを必ずお願いします。定員（70 名）になり次第、締め切らせていただきます。

記

1. 日 時； 2021 年 5 月 9 日（日）10 時 20 分～16 時 30 分。茶話会；17 時 00 分～19 時 00 分。
2. 場 所； 京都大学百周年時計台記念館、国際交流ホール 2 室（茶話会は、懇話会会場に隣接する 1 室）  
記念館の概要：[百周年時計台記念館 | 京都大学 \(kyoto-u.ac.jp\)](http://www.kyoto-u.ac.jp)
3. 懇話会の内容 <講演者、演題、講演の順序など変更ある場合は、ご了承をお願い致します。>  
<詳細は、別紙「プログラム」を参照ください。>

(1) 「雲南懇話会の概況と 1989 年当時の梅里雪山山麓（斯農村、明永村）」

雲南懇話会代表、筑波大学名誉教授

安仁屋政武

(2) 「茶を育てて見えてくること —雲南省南見村と島根県柿木村から—」

雲南懇話会幹事、Tea literacy

上原 美奈子

(3) 「パミール・天山 7,000m の峰々からヒマラヤの高峰へ」

登山家、高峰ガイド、Snow Leopard Award 受賞者、8000m 峰 9 座登頂者

近藤 和美

(4) 【特別講演】 「ゴリラに学ぶ —ヒトの未来、地球の未来—」

京都大学（前）総長

山極 壽一

(5) 【特別講演】 「千日回峰行を生きる」

比叡山延暦寺一山大乗院住職、北嶺大行満大阿闍梨

光永 圓道師

#### 4. 茶話会・スライドショー

(1) 「西ネパールの辺境に魅せられて - 河口慧海師の足跡、フムラ・ドルポ越冬 -」

ネパール探求家、美容師

稲葉 香

(2) 「中国雲南省明永村、徳欽県の今」

岐阜大学応用生物科学部助教

田中 貴

5. 参加費用； 懇話会は一人 2,000 円。 茶話会は一人 3,000 円。

6. 参加申込先（懇話会・茶話会とも事前の申し込みが必要です。）； [info\\*yunnan-k.jp](mailto:info*yunnan-k.jp)

（SPAM メール防止のため、@を伏せ字にしています。使用時、変換願います。）

以上

京都開催の経緯： 雲南懇話会は、首都圏・関東甲信越・東海を中心に活動しておりますが、京都・滋賀・大阪を中心とする中部・近畿・中国四国九州の皆様にも大変なご支援ご協力を頂戴してきました。16 周年を記念するこの機会に、西日本地域の皆様に「感謝」と「御礼」を申し上げるべく、京都での開催と致しました。本来、2020 年 5 月に京都大学で開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染防止の為、1 年延期したものです。

文責：雲南懇話会代表幹事 前田 栄三